

深伊沢小学校便り

家庭学習強化週間の取組結果

2月18日(金)～24日(木)まで、今年度3回目となる「家庭学習強化週間の取組」にご家庭での協力ありがとうございました。今回の期間全学年の平均学習目標時間は34.5分、読書目標時間は15.9分となりました。第1回目の際にお伝えしました学習目標時間(10～15×学年)、読書目標時間(10～25分)は達成できました。

個表の感想を紹介させていただきますと、

「いつもは休みの日には勉強をしていないから、不思議な感じがしました。普段あまり本を読まないからたいへんでした。」(子ども)

「いつもは本を読まないけど、いろいろな本を読めて面白かったです。」(子ども)

「百マスはたいへんでした。」(子ども)

「もう少し休日に勉強を頑張りたいと思いました。テスト勉強のある日はいつもより頑張りました。」(子ども)

「ゲームの時間を減らし、学習、読書に時間にうまく使えました。この期間だけでなくこれからも続けていってね。」(保護者)

「自分でペースを考え、読書、学習の時間を調整していました。この調子で頑張れ！」(保護者)

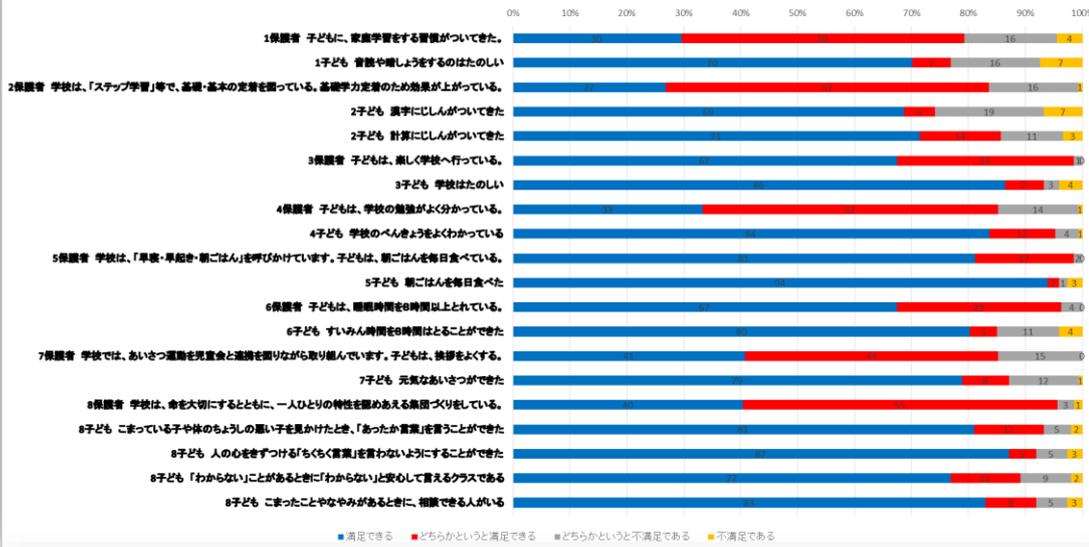


コロナ禍のため、以前より外出する機会が減り、家庭内で過ごす時間が増え、その増えた時間をゲームや動画、ネット環境に浸る子どもたちが増えています。実際今回の取り組みの感想の中でも普段のゲームの時間を削り、読書に取り組んでいたご家庭もたくさんあるようで、この期間のみならず、今後も続けていただければと思います。また、子どもたちの中には、休日は学校が休みと同じで、勉強はしないものという感覚があるようで、子どもたちの素直な心理も感想から垣間見えました。休日には、以

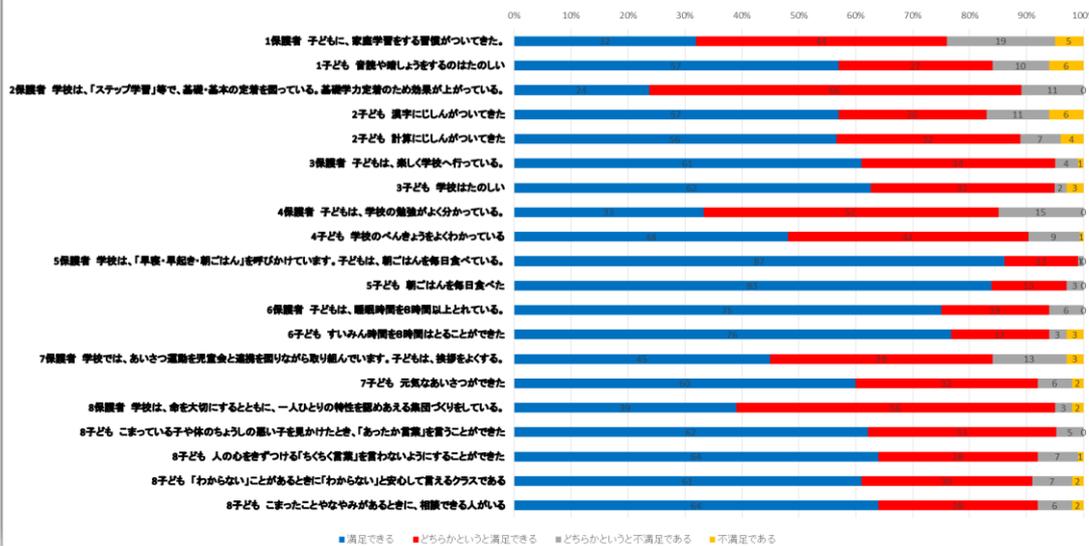
前お伝えしました家族みんなでそれぞれが好きな本を一緒に同じ時間で行う「親子読書」や、親子でそれぞれに読み聞かせを行う「親子読み聞かせ」に取り組んでみてはどうでしょうか。

学校教育アンケートの結果

第1回学校アンケート 保護者、子ども比較



第2回学校アンケート 保護者、子ども比較



紙面の関係上小さくなり申し訳ありません。左のグラフが本年度保護者の皆様、子どもたちに協力していただき、2学期始めと終わりに実施した学校アンケートの、保護者、子どもへの類似質問に対する回答を上下に並べ、比較したグラフとなります。上段が、第1回目、下段が第2回目となります。

1回目と比べると、2回目のほうが子どもの回答で、「満足する」が減り、「どちらかという満足できる」が増えています。ちょうど、コロナ感染拡大で

2学期始業が1ヶ月延期され、2学期が始まったばかりに行ったアンケートであり、本来の子どもの様子よりもより意欲的にアンケート結果に出てきたためかもしれません。2回目のほうが保護者の方々のと回答とも差が少なくなり、子どもたちの本来の姿を現しているようです。

3月11日を引き継ぐ

東日本大震災が起き、今日で11年目になります。今の子どもたちは、あの震災を自身の身をもって経験していませんし、生まれていても記憶にはありません。災害を経験した大人の使命の一つとして、それを知らない世代に語り継いでいくことだと思います。このことが今後起こる災害への備えとなります。三重県内の学校でも、熊野灘に面した学校は東日本大震災以降、毎月避難訓練、予告なし訓練を行っている学校もあり、普段からの備えが命を守ることに直結しています。ご家庭でも災害時の避難等のお話をしていただく機会としてください。